



鉛筆を正しく持てることが学力にもたらす好影響

■ 手が疲れない

鉛筆を正しく持つことができると、文字を書く際に**疲れません**。指に負担をかけることなく、鉛筆の先に力をうまく伝えることができるので、適度な筆圧で文字を素早く書くことができます。また、鉛筆の先端が自然と見えるので、姿勢も崩れません。長時間文字を書き続けても疲れないので、集中力も長続きします。

シャーペンでは中指に緩い刺激しか与えられないのに対して、鉛筆はしっかりと刺激をします。中指が刺激を受けたほうが、手の平の支点となる小指球の発育に良い影響があり、しっかりとした書体になるのだとか。脳が活性化するということです。

■ 文字を正しく書くことができる

鉛筆を正しく持つと、鉛筆をスムーズに動かすことができるので、文字を正しくきれいに書くことができます。無理に力を入れなくても、「とめ」「はね」「はらい」をきちんと書けるのです。また、正しい鉛筆の持ち方で正しく文字を書くことができれば、多少速く文字を書いても文字の美しさは、さほど崩れません。

■ 成績がアップする

鉛筆を正しく持ち、文字をきれいに書けることは、良い成績につながります。テスト中などで急いで文字を書いている場合でも、文字が極端に雑になったり、文字を飛ばしてしまったりすることがないからです。数字の0を6に見えるように書いてしまう、見直しに支障がでるほど文字が乱れる、といった事態を防げるため、得点に直結するのです。

また、年齢が上がり論述式の試験を受けるようになると、文字のきれいさ自体が得点に有利に働くようです。「きれいな文字で書かれた答案は読みやすいため、良い点数を得やすい」という研究結果があるほか（フロリダ国際大学のローラ・ダインハート准教授による）、東大の教授の実際の声としても、「大量の答案やレポートを見なければならないときには、字がきれいだと印象が良い」という意見があるのだそうです。

■ 勉強に対するモチベーションがアップする

鉛筆を正しく持つと、きれいな文字でノートを美しく書くことができるため、達成感が得られます。洗練されたノートを書けるので勉強が楽しくなり、やる気アップにつながるのです。「ノートや答案をきれいに書けると、勉強が楽しい」という意見は、実際の東大生の声として多くみられるそう。他に、丁寧に文字を書く習慣は、問題を丁寧に解くことにもつながるという声も。

鉛筆を正しく持つと……

文字を丁寧に速く書けるし、疲れない。疲れないから、長時間勉強に集中し続けられる。きれいなノートが書けてやる気もアップ。テストでは良い点が得られ、成績にも直結！ 高校受験、大学受験まで好影響がもたらされます。